

事業所名

ハミング ことばとからだところの教室

支援プログラム（重心以外児童発達支援）

作成日

令和8 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		「どんな障がいのある人も、地域の中で生活する」を基本とし、障がいのある人々が、働くことを通じて自己の存在感と生きがいを見だし、また人とふれあい関わり合うことによって基本的な生活習慣を身につけ、将来は「どんな障がいのある人も、地域の中で生活する」ということを目標に、一人ひとりに合わせた支援を行うことを目的とします。法人の事業所は、将来の目標に向けて地域の中にたくさんの理解者を作るため、本人や家族・職員・ボランティアの人たちと、共に学び、共に育ち、お互いの理解を深め、明るい未来を築き上げる拠点として設置します。					
支援方針		児童発達支援事業では、日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう利用児の意向、適性、障がいの特性その他の事情を踏まえて、利用時に対してその人格を尊重し、常に利用児の立場に立った福祉サービスの提供に努めます。 また、関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図った適正且つきめの細かい支援を行います。					
営業時間		8	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 片づける場所や靴を置く位置の目印、スケジュールを貼ることでの見通しなどの視覚支援を通して自ら行動ができるよう環境に配慮しながら支援をしていきます。 手のつまむ力の向上・手と目の協調性の向上、服のボタンの付け外しができるようになる、靴の左右の違いに気付くことができるなど巧緻性を向上するような活動を通じて、自然に生活習慣の獲得ができるように支援をしていきます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> サーキット遊びを通して筋力の維持・強化、歩く、走る、跳ぶなどの基本的動作の習得を目指します。 はじめの会、終わりの会、または個別療育での机上課題などで椅子に座る練習を行い、姿勢維持の向上を目指します。 視覚、聴覚、触覚、前庭覚、固有覚といった基礎感覚を活用する活動を多く取り入れます。 活動を通して感覚の統合を促進し、場面に応じた感覚の調整や注意の向け方が習得できるようにします。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の認知特性を理解し、適切に動けるよう環境設定を行います。 自由遊びや外遊びの終わりの時間を告げたりタイマーを使うなどの方法で時間の認知に繋げていきます。 絵本や制作を通じて、「多い・少ない」「大きい・小さい」など読み方に変化をつけることでその概念の習得を支援します。 活動のなかで、声の調整、音をよく聴く、体の使い方、力加減、人との距離感、などの身体意識の向上や空間認知能力を促します。 順番もカードで示し視覚化します。そうすることで「待つ」ことを支援します。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 色や名詞の語彙を増やしていく中で、「走る」「止まる」「顔を洗う」など基本的な日常生活動作と言葉を結び付けていきます。 また、ゆっくり・早くの速さを表す言葉や上下・前後など方向を指す言葉や動作のマッチングや「ちょうだい」「貸して」など社会性のある言葉と動作を結びつけます。言語によるコミュニケーションができるお子さまにはそれぞれのレベルにあった問いかけをして話すことを楽しんでもらいます。またその場に合わせた適切な言葉遣いも伝えていきます。言語が難しいお子さまには、それぞれに合った方法でコミュニケーションがとれるよう支援します。具体的にはジェスチャーやカードなどでの支援を行います。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 順番や他の人をほめる、他の人に認めてもらうなどを支援します。また社会的に認められる適切な行動の型のモデル提示し、模倣による習得と般化を目指します。 複数人で一つのゲームを行い、集団への参加意識を高めるとともに集団活動での成功体験を積み、「一人よりもみんなのほうが楽しい」という経験を提供します。 					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 面談や電話、連絡帳等で保護者に対する相談支援をします。 家での困り感に応じて、場面に応じた接し方を提案します。 希望者があれば、保護者座談会にて保護者同士の交流の機会を設けます。 			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 就学に向けて、教育委員会や就学予定先の学校などと連携します。 幼稚園や保育園の移行先に対し、本人の強み、感覚や運動の特性を引継ぎを行い、受け入れ先が安心できるようにしていきます。また、希望に応じて、放デイ事業所への引継ぎを行っていきます。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、保育園等と情報共有し、本人が安心して過ごせるように支援をしていきます。 			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止に関する研修 感染症に関する研修および訓練 安全管理に関する研修（事故防止、応急手当、防犯等） 発達に関する研修（外部研修・内部研修） 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 季節の制作、交通安全に関わる外出 						